

北海道新幹線シンポジウム 資料

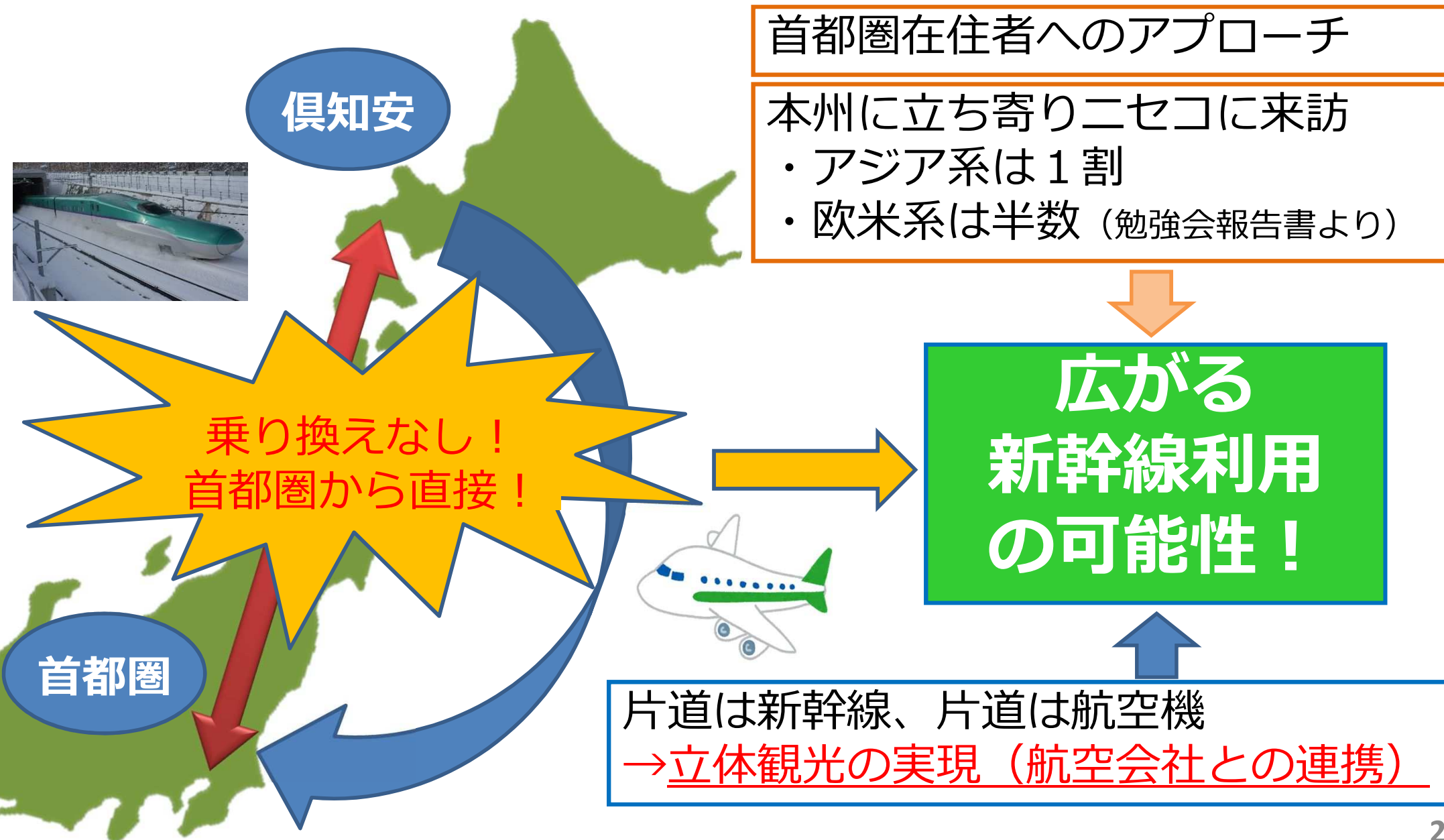


2022年3月19日

 北海道旅客鉄道株式会社
HOKKAIDO RAILWAY COMPANY

鉄道事業本部 営業部長 林 雅子

1 東京からダイレクトに倶知安へ



1 東京からダイレクトに倶知安へ

○グランクラス利用でのアテンダントによるサービスで快適な移動



○新幹線オフィス車両で移動中にテレワーク



新幹線移動中の新しい過ごし方

新幹線オフィス車両

東北・北海道
上越・北陸の
各新幹線8号車(こまち号・つばさ号・
うるさ号は対象外)

- 車内でパソコン等を使った仕事や勉強におすすめ！
- 座席で電話やWEB会議もOK！
- 追加料金なしで8号車以外のご乗車に必要な乗車券類のみでどなたでも利用可能！

※8号車自体の座席予約はできませんので、ご了承ください。

土日および最繁忙期を除く平日のみ実施
(最繁忙期：GW・4/27～5/6、お盆：8/10～19、年末年始：12/28～1/6)
※ご利用状況などにより、実施日・対象列車など、変更となる場合があります。

 パソコン ワーク	 WEB会議
 通話	 勉強

2 観光客がメインターゲット

■ 1列車あたりの輸送力 → 715席（荷物置場増設後）

■ 利用目的 → 仕事 18.5% 観光62.3% 帰省5.8% その他13.4%

※平成28年10月26日、27日、30日の3日間でのアンケート調査（N＝約2,000人）

（出典：新函館北斗駅新幹線乗降客調査報告書 NHK函館放送局、北海道新函館開業対策推進機構、函館大学）

⇒ 観光客獲得に向けた販売促進

- ・旅行会社・航空会社等と連携した観光客獲得や教育旅行の誘致等
- ・北海道観光の課題である閑散期に対する利用促進



※平成31年3月13日プレス資料

「北海道新幹線月別利用実績」（2018年度は2月末まで）



【倶知安町におけるポイント】

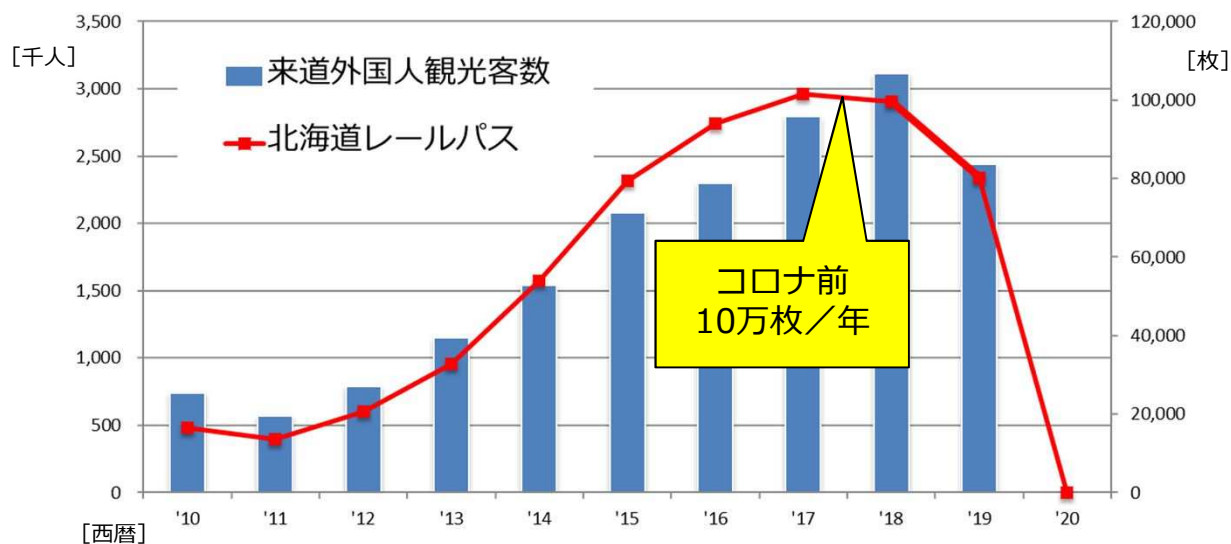
- ・利用が落ち込む冬期に高い需要
- ・「オールシーズンリゾートへの進化」
→ 共創による受入体制構築



3 当社によるインバウンドの取組

○レールパスのラインナップ (ジャパンレールパス除く)

	券種	有効期限	海外料金	利用可能エリア
滞在 タイプ	札幌-登別エリアパス NEW	4日	8,000円	札幌周辺～登別 (自由席)
	札幌-富良野エリアパス NEW	4日	9,000円	札幌周辺～富良野 (自由席)
道内周遊 タイプ	北海道レールパス 5日間用	5日	19,000円	北海道全域 (新幹線除く)
	北海道レールパス 7日間用	7日	25,000円	北海道全域 (新幹線除く)
道外共通 タイプ	JR Tohoku-South Hokkaido Rail Pass	6日	24,000円	札幌以南の北海道、東北
	JR East-South Hokkaido Rail Pass	6日	27,000円	札幌以南の北海道、関東・東北



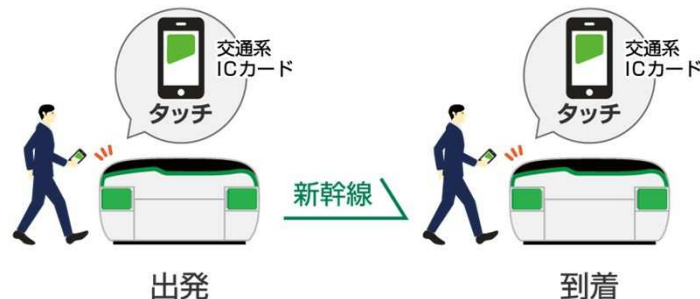
3 当社によるインバウンドの取組

○インバウンド施策の改善点（2021.4）

- ・ レールパスのリニューアル（エリアパス新設等）
- ・ レールパスの自動改札機対応開始
- ・ 指定席券売機での指定席予約・発券サービスの開始
- ・ レールパス引換証の電子化（eMCO）



○えきねっと「新幹線eチケットサービス」



→Kitacaエリア外の新函館北斗駅、
木古内駅等でも**利用可能**



【インバウンド向け】

- ・ 「JR-EAST Train Reservation」による「新幹線eチケット」発売
→ 交通系ICカード番号の登録によるチケットレスサービスを実現

4 東北を含めた周辺観光地との連携によるプロモーション

○新幹線開業＝倶知安を拠点とする日帰り圏の拡大

- ・道内（札幌、函館）はもちろん、、、

- ・**東北（青森、盛岡）も日帰り圏に！**

【世界文化遺産をめぐる旅】

中尊寺金色堂（平泉の文化遺産）、
三内丸山遺跡（北海道・北東北縄文遺跡群）
（新青森駅から車で6分、徒歩30分）

【東北3大祭り】

青森ねぶた祭り、仙台七夕祭り

【東北のスキーリゾート】

八甲田（新青森駅から車で50分）



**倶知安・二セコにおける
滞在型観光の促進**

5 アドベンチャートラベル（AT）のプロモーション

○後志管内のアドベンチャートラベル素材（ATWS2021「DOA」より）

「イワオヌプリと温泉体験」「ニセコサイクリング＆トレッキング」「羊蹄山麓」「尻別川ラフティング」「岩宇地区山と海の暮らし体験」「積丹絶景ハイキング」

○インバウンド再開を見据えた2022年度取組方針（JNTO）

①高付加価値旅行②サステナブルツーリズム③アドベンチャートラベル
→③は①②にもつながる他、2023年度にはATWSも開催

- 高付加価値旅行：地域への経済効果・地域に還元される旅行消費額が高いAT
- サステナブルツーリズム：ATのグローバル基準の1つが「SUSTAINABILITY」

※（公社）北海道観光振興機構資料より引用

○環境に優しい新幹線（鉄道）

エネルギー効率

1人を1km運ぶのに消費するエネルギー

鉄道の消費エネルギーは航空の約1/4、乗用車の約1/6



※鉄道は、JRと民鉄の合計。
※出典：「交通関係エネルギー要覧(平成21年版)」

二酸化炭素排出量

1人を1km運ぶのに排出する二酸化炭素

鉄道の二酸化炭素排出量は航空の約1/4、乗用車の約1/6



※出典：国土交通省HP
(http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sose_environment_tk_000007.html)

※ 鉄道建設・運輸施設整備支援機構パンフレットより引用

ヨーロッパでは、鉄道による来訪等を促し、「車を使わない休暇」を過ごせる「鉄道で行く高品質のリゾート」に取り組み、グリーンシーズンの観光強化による通年雇用の拡大や人口増加に成功した事例
(勉強会報告書より)

**北海道新幹線
倶知安駅開業で実現を！**